

祭神

今按明細帳に祭神天日神命とあるは舊事紀に天日神命對馬縣主等祖とみえ荒木田延佳の頭注に阿麻底留神是天日神命也手とあるによりて云る説と聞え式内社記に祭神天照大御神とあるは阿麻底留の語によりて云るものにてとり難しこは山城葛野郡木島坐天照御魂神社丹波天田郡天照玉命神社などといつれも天照國照彦火明命を祭れるにやらば此神社も同神なるべし

祭日 六日九日

社格 村社

所在 小船越村(下縣郡小船越村大字河岸川)

住吉神社

大名

祭神 底筒之男神

中筒之男神

上筒之男神

今按明細帳式内社記に鵜草菅不合尊とあれ住吉神社とある上は三柱の筒之男神なる事著し故今之を訂せり
神位 仁明天皇承和四年二月戊戌對馬島下縣郡無位住吉神奉授ニ從五位下 清和天皇貞觀元年 正月廿七日甲申奉授ニ對馬島從五位下 住吉神從五位上 十二年三月五日丁巳詔授ニ對馬島從五位上 住吉神正五位下 陽成天皇元慶三年五月廿一日庚戌授ニ對馬島正五位下 住吉神從四位下

馬島正五位下平神從四位下

祭日 二月十三日

社格 (明細帳中村町八幡宮神社) 境内平神社村社とあり

所在 今屋敷町 和多津美 神社境内 (下縣郡中村町八幡宮境内)

敷島神社

祭神 雷大臣命

神位 清和天皇貞觀十二年五月五日丁巳授ニ對馬島敷島神從五位上

祭日 六月十五日

社格 村社

所在 加志村 字敷 島山 (下縣郡加志村大字小河内)

都々智神社

祭神

今按長崎縣式内社記に祭神もとは建彌巳々命とあれさも國史に徴するに誤りなり仍て建巳侶命に改正すとあるは杜撰なりこは古事記に天菩比命之子建比良鳥命云々等之祖也とありて次天津日子根命者云々茨木國造云々等之祖也また國造本紀に茨城國造祖建許呂命云々とみえたる如く建許呂命は天津日子根命の御末なるを天菩比命の後と思ひ誤りしよりの説なれば從かたし又國造本紀に津島縣直を高魂尊五世孫建彌巳々命とある高魂尊はもしくは天

對馬島 下縣郡

祭日 九月十三日

社格 郷社

所在 鷗知村 字白 (下縣郡鷗知村大字白江山)

和多都美神社

(明細帳に住吉神社) (合祭すとあり)

祭神 底津綿津見神

中津綿津見神

表津綿津見神

神位 清和天皇貞觀十二年三月五日丁巳授ニ對馬島和多都美神從五位上

祭日 二月四日

社格 村社

所在 鷗知村 住吉神 社境内 (同上住吉神社に合祭す)

平神社

祭神

今按長崎縣式内社記に祭神天穗日命日本武命仁德天皇鬼道皇子とあれど更に此國によしなき神なれば信かたし思ふに平神社と云を以て平野神に思ひよせてかく祭神を定めしなるべし姑附て後考を俟つ
神位 仁明天皇承和八年八月戊午奉授ニ對馬島無位平神從五位下 清和天皇貞觀十二年三月五日丁巳詔授ニ對馬島從五位上 平神正五位下 陽成天皇元慶三年五月廿一日庚戌授ニ對

菩比命ならんとも知るべからず舊説に建彌巳々命とあるぞ正しかるべき故今之に従ふ
官社 仁明天皇承和七年十一月庚辰對馬島郡々知神預ニ官社ニ

祭日 十一月十五日

社格 村社

所在 久根田舎村 字都々 智山 (下縣郡久根田舎村大社矢立山)

銀山神社

祭神 金山彦命

神位 仁明天皇承和七年十一月庚辰對馬島銀山神預ニ官社ニ 清和天皇貞觀十二年三月五日丁巳詔授ニ對馬島銀山神從五位上

祭日 六月一日

社格 村社

所在 櫻根村 字大 (下縣郡石田村大字櫻根)

特選神名牒完